



ふらのの大地

1
2026 (令和8) 年
No. 299

-農協からの手紙-



謹賀新年



2025 ふらの東山エリアフォトコンテスト グランプリ受賞作品
央戸 和磨さん “収穫の刻を告げる光”

新しい年を迎えるにあたり

代表理事組合長

植崎博行



謹んで新春のお慶びを申し上げます。組合員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、参議院議員選挙が行われ、我々の地元・名寄出身の東野ひでき氏が、皆様のご支援を受けて見事当選されました。農業者の代表として、私たちの声を国政に届けていただけることを大いに期待しております。また、政局においては、自民党が衆議院・参議院ともに過半数を割り、総理大臣も石破総理から日本

初の女性総理である高市総理へと交代するなど、大きな変化の年となりました。

さて農作物の生産・販売状況につきましましては、高温や干ばつの影響により、総じて平年作を下回る結果となりました。一方で、米の価格は例年より高値で推移し、米農家にとっては2年連続で良い年となりました。畑作に関しては、資材価格の高騰などにより厳しい環境が続いておりますが、全体としては前年を上回る単価となりました。野菜については自給率の逼迫により高単価で推移し、酪農・畜産についても以前と比べて改善の兆しが見られます。今後も酪農家や関係機関の一層の努力と支援が求められます。

国においては、令和9年に向けた新たな水田政策の見直しをはじめ、今後5年間で2兆5千億円を投じて農業の大幅な構造転換を進める方針が示されております。JAとしても関係機関と連携を密にし、所得の増大をはじめ、富良野地域を支える最大の組織としての役割を果たしてまいります。

JAふらのの合併から26年目を迎え、多様化する農業者のニーズに対応する中で、玉ねぎ等の集荷率の低下や農協利用の減少、地区間格差の拡大など、さまざまな課題を抱えております。このような状況の中で、農協本来の役割をしっかりと説明し、組合員の皆様との信頼関係をより一層深めていくことが求められます。今後とも「利用されるJA」「必要とされるJA」

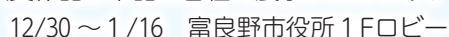
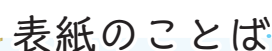
を目指してまいります。

さて、今年は午年。「幸運が駆け込んでくる年」「物事がうまくいく年」と言われており、挑戦することと成果が得られる年ともされています。今日まで、ふらの農業の先人たちのためまぬ挑戦と努力により、私たちは全道有数のJAへと成長してまいりました。今年も多くの困難が予想されますが、挑戦する気持ちを忘れず、課題に立ち向かっていきたいと思っております。

結びに、本年がふらの農業にとって豊穡の秋を迎える年となりますよう、また、組合員の皆様が健康で事故なく、健やかに1年を過ごされますようご祈念し年頭のご挨拶といたします。

ふらのの大地 1 目次

-



青果部より



青果物の流通については、卸売市場を通してスーパーや量販店に並び消費者に届けられますが、実はその過程で重要な役割を担っているのが「ホクレン農業協同組合連合会」であります。
今回はそのホクレンより青果物の流通に係る取り組み内容をご紹介します。

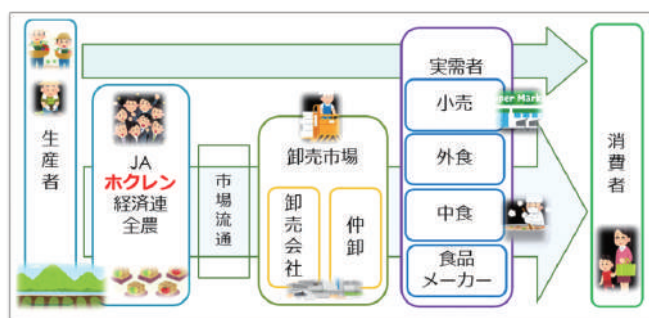
1. ホクレンとは

ホクレンはＪＡグループ北海道において、農畜産物の「販売」「購買」「営農支援」など経済分野を中心に生産者の皆さまの営農を支えるための組織です。コーポレートメッセージである『つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に』の実現に向け、全道のＪＡと一緒に各種取り組みを行っています。

その中で、青果物を担当する「種苗園芸部」では、青果物流通を通じて「産地における持続的な営農を支援すること」、「消費者の健康と豊かな食生活に貢献すること」を使命に、全国各地に担当課と人員を配置して業務を行っています。

2. 青果物の流通について

皆さまに出荷いただいた青果物の多くは、卸売会社（青果市場）を通じて販売され、全国の食卓に届けられます。卸売会社では、需



「予約相対取引」などの取引手法を用いて日々有利販売に努めていただいています。

近年は単身・共働き世帯の増加などから、野菜・果実を調理済みの食品から摂取する傾向が強まっています。これら外食・中食を担う取引先への原料供給も含めて、ホクレンでは多くの選択肢を持つて全道の青果物を余すことなく販売に結び付けるよう取り進めています。

ここからは、各地のホクレンの業務内容をご紹介します。

3. 皆さまの近くで支える「支所」

上川エリアを担うホクレンの事業所として、12課・1室で構成される「旭川支所」があります。その中で野菜・果実・花き・種苗を担当するのが「青果課」で、7名の職員が所属しています。業務内容は多岐に渡りますが一言で表すと、皆さまと一緒に産地課題を解決することが支所の役割です。青果課だけでは解決できない課題についても他部門や関係機関とタイムリーに連携し、ホクレンの総合力を以て解決する起点となるよう対応いたしますので、野菜・果実・花き・種苗に関連してお困りの際は、ぜひＪＡふらのを通じてホクレンまでご相談いただけると幸いです。

玉ねぎ、ミニトマト、軟白ねぎ等、ふらの産 青果物の担当窓口をしています。

支所の主な業務

- ▶ 青果関連の産地総合窓口
- ▶ 産地への販売提案（品目・取引先）
- ▶ 消費地への産地情報発信
- ▶ 種苗の取りまとめ・提案
- ▶ 野菜価格安定事業関連
- ▶ 残留農薬検査の取りまとめ

また、イベントの企画や情報発信も精力的に行っています。令和7年は、上川管内のイオン5店舗や札幌市の飲食店で「JAGループかみかわ（上川管内13JAの総称）フェア」を開催し、ご好評をいただきました。また、毎月1回「HBCラジオ」ろくろかるナビです。北・東」で上川管内の旬の青果物に係わる情報を発信しています。10月には玉ねぎ部会の殿山会長にご出演いただきました。

4. 消費地で商談・折衝を行う「支店」

卸売会社など取引先の窓口となり、日々有利販売に努める営業部隊が「支店」です。青果物は作柄の豊凶や販売環境に波があるので、取引先との商談は緊張感のある厳しい場面も少なくありませんが、良好な関係性は保ちつつも産地の実情や想いを熱く伝えていきます。また、JAが出荷先を判断するために必要な消費地の情報をタイムリーに産地につなぐことも支店の大事な機能で、品目によっては卸売会社への分荷をお任せいただいているものもあります。

そのほかに、全国の量販店や生協とのきめ細やかな直接商談や商品開発を行う「園芸開発チーム」という仲卸機能も合わせて、皆さまの大事な生産物を責任持ってお預かりでき

北海道産青果物の情報発信、販売担当窓口をしています。



支店の主な業務

- ▶ 青果関連の消費地総合窓口
- ▶ 販売先との商談・販売提案
- ▶ 消費地の情報の発信
- ▶ 代金回収・債権管理
- ▶ 協議会・視察対応

るよう販売体制を構築しています。

青果物を「販売する」だけでなく、「代金を回収して皆さまにお支払いする」ところまでがホフレンの仕事です。そのための取引先管理も日々欠かせません。

5. 産地と消費地をつなぐ「施設」

支所と支店をつなぐ大事な機能として、ホフレンが持つ施設があります。札幌・石狩・関東にある「野菜センター」では、青果物の一時保管や加工（小分け・袋詰めなど）による付加価値販売やJAからの作業受託などを行っております。また、年々制約が強くなる輸送課題への対策として、物流拠点として活用いただく機会も増えています。

「滝川種苗生産センター」では、良質なプ

ラグ苗を安定供給できるよう取り進めており、JAふらのにはミニトマトのプラグ苗などでご利用いただいています。

石狩パッケージセンターでの南瓜選別



札幌野菜センターでの南瓜パッケージ

6. 最後に

JAふらのに限らず、青果品目の作付面積は全道・全国規模で少しずつ縮小しています。皆さまに安心して持続的に青果物を生産していただけるよう、青果担当はもちろん、ホフレンの他部門や関係機関とも連携し、引き続き取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いたします。

Welcome to Furano!

玉ねぎ・にんじん・メロンにスイカ、当ふらの地域には多様な農産物が溢れていますが、管内の農業を支え、畑から消費者まで届けるためには多くのマンパワーを必要としています。

このため、JAでは『特定技能制度』を活用してインドネシアから多くの人材を登用し、ともに“ふらの農業を支えるメンバー”として活躍してもらっています。

本誌では、赤道直下の南国から、北の大地のど真ん中・富良野までやってきて、気候・文化・宗教などの違いをものともせずには八面六臂の活躍をする皆さん方を紹介していきます!今回はシルヴァさんとウィディアさんです。



Welcome to Furano! ふらので働く外国人紹介

①



#17

シルヴァ メイラニー
SILVA MEILANYさん
20歳

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

愛称: シルヴァ

出身: 西ジャワ スカブミ

ふらの滞在歴: 1年9ヶ月

困った事: 寒い!手袋を履いていても、しもやけになる

頑張っている事: 週2回、オンラインで日本語の勉強をしている

驚いた事: 日本人は50歳を過ぎても働いている (インドネシアの定年は50歳)

好きな言葉: よりよい人間になる



①



#18

ウィディア コンテサ
WIDIA KONTESAさん
26歳

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

愛称: ウィディア

出身: スマトラ ブンクル

ふらの滞在歴: 1年9ヶ月

好きな日本食: 香川うどん (滞在歴: 山形・香川・富良野)

驚いた事: 同じ日本でも、雪が降る地域と降らない地域がある

北海道で行ったところ: 札幌の雪まつり

好きな言葉: 七転び八起き



※音データはmp3形式です。

それぞれ、好きな言葉をインドネシア語で紹介しています。興味のある方は覚えてみてはいかがでしょうか!

青年部上富良野支部 道外研修、見聞を広める

青年部上富良野支部部員13名により、11月18日～20日（3日間）に九州地区「熊本、福岡」2県を回る研修を実施し、見聞を広めました。

旭川空港より羽田経由で熊本に着く予定が、気流の影響で到着が遅れ、一件目の視察先をやむを得ず取りやめ、次の創業158年の老舗酒蔵「瑞鷹」を訪問。伝統を守り続けるその発想に皆感銘を受けていました。

2日目は熊本城を見学。地震による崩壊も天守閣が見事に再建されていました。午後は北海道には無いサントリービール工場を視察。「水」がいかに大切かを知らされました。夕方は福岡に移動し、太宰府天満宮では、同行部員の旅の安全と家内の無病息災を祈願してきました。

最終日は福岡大同青果を訪問。当JAからは芋・玉ねぎの取り扱いの他、近年はメロン・スイカも出荷しており「ふらのブランド」として高い評価をいただいていると説明を受け、今後も良いものづくりに励み、安定出荷を約束して無事研修を終えました。



修復された熊本城



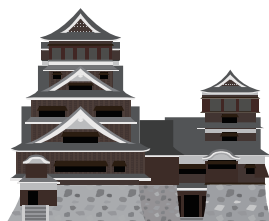
サントリー九州熊本工場



福岡大同青果にて懇談



JAふらの産玉ねぎの評価を聞く



青年部富良野支部事業委員会 道内研修

11月6日から11月7日にかけて、青年部富良野支部事業委員会主催による道内視察研修を開催、13名の部員が参加しました。

今回の道内研修では、農業機械の最新機種やロボットトラクターの動向を把握する為、帯広方面への視察研修をおこないました。

1か所目は、JA帯広かわにしにてロボットトラクターの研修を行いました。概要説明を受けたのち意見交換を行い、その後、ヤンマーアグリジャパン帯広支店に場所を移し、実機を確認するなど、今後の農業への情報収集を行いました。

2か所目、3か所目は、エム・エス・ケー農業株式会社十勝支社と日本ニューホランド帯広営業所へ視察研修、最新機種等を見させていただきました。

4か所目は、緑山株式会社十勝営業所にて、超大型トラクターのゼリオン4200を見学。国内では唯一の大型トラクターという事で、参加した部員も体験・試乗していました。

今回の視察研修で、ロボットトラクターの実践的な運用方法や最新の農業機械を視察し、今後の可能性について理解を深めることができました。



JA帯広かわにし



ヤンマーアグリジャパン帯広支店



日本ニューホランド帯広営業所



緑山株式会社十勝営業所



緑山株式会社十勝営業所

青年部富良野支部 道外視察研修



国会議事堂見学

11月17日から20日まで、青年部富良野支部では東京方面への視察研修を開催、10名の部員が参加しました。

17日、旭川空港より一路東京へ向かい、1か所目の視察研修場所、「JA全農青果センター東京センター」で視察研修をおこないました。宮本課長代理より、今年の販売情勢などの説明を受けたのち意見交換をさせていただきました。部員からは実際の生産から販売に至るまでの質問・意見も出て、良い形での視察研修になりました。

2日目、「さいたま春日部市場（株）」での視察研修。まず現場市場をご案内いただき、その後更科代表取締役社長より丁寧に作成された資料に基づいて、さいたま春日部市場の概要説明や販売状況などをご説明いただきました。その後の意見交換では、販売に関する意見や質問もさせていただきなど、貴重な機会を得る事ができました。

3日目は、衆議院議員東国幹代議士の衆議院事務所にご挨拶を済ませたのち、秘書の方のご案内で国会議事堂の見学をさせていただきました。夜の懇親会には、国政を担う東代議士はお忙しい時間を縫ってご参加くださり、楽しくも勉強になる時間を過ごしました。

最終日の20日には、豊洲市場を見学、首都圏の生鮮食料品を担う市場として、最新設備の整った市場を視察研修する事が出来ました。

今回の視察研修では、実際の農産物の販売における意見交換を多数できたことはもちろん、国会議事堂の視察、東代議士との懇談の機会を設けることが出来、大変良い研修を行う事が出来ました。



JA全農青果センター東京センター



さいたま春日部市場



東代議士との懇親会



豊洲市場

青年部富良野支部

11月12日、東小学校でカレーパーティーが開催され、青年部富良野支部が参加しました。

また、11月14日、扇山小学校でオムカレー作りにも参加しました。

東小学校、扇山小学校ともに、3年生が本年度子供農作業体験で収穫した農作物を使い、東小学校はカレーライス作りを、扇山小学校はオムカレー作りを行いました。

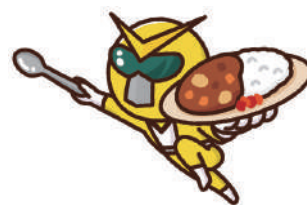
東小学校では、青年部富良野支部役員に教わりながら、真剣な表情で野菜を一口大に切り分け、一つ一つの料理工程をこなしていました。

扇山小学校では、富良野高校の有志一同の皆さんが先生になり、調理工程などを説明。6班集体でオムカレー作りを行い、それぞれに富良野高校の生徒さんと青年部富良野支部役員が付いて、オムカレー作りの手伝いをおこないました。

両校とも、試食を終えると「今までで一番おいしい！」との言葉をいただきました。



扇山小学校 子供農作業体験オムカレー作り
東小学校 カレーパーティー参加



扇山小学校 オムカレー作り



東小学校 カレーパーティー

青年部中富良野支部「勉強会」開催



会場の様子



武藤税理士による講義

11月7日、中富良野事務所3階大会議室において、「農業経営と税金」をテーマに勉強会が開催されました。

オーレンス税務事務所の武藤税理士を講師として招き、所得税と消費税の仕組みや算出方法等の基礎知識をはじめ、農業経営基盤強化準備金制度の活用と留意点等について講義を受けました。既に知識を持っていた部員もおりますが、復習の意味も含め再確認する機会となり、とても有意義な勉強会でした。

中富良野支部では47名の部員のうち、既に経営主となっているのは約4割で、将来に向け経営移譲を受ける部員は半数以上おります。参加者は各々真剣な面持ちで、集中して講義に臨みました。



積極的に質問します

青年部中富良野支部 役員視察研修

11月18日から21日の4日間、九州方面へ肥料工場および市場を訪問し研修を行いました。初日は千歳から福岡へ到着後、そのまま大分まで移動するタイトな日程でしたが、2日目から片倉コープアグリ九州支店日出工場を訪問しました。化学肥料工場では珍しく煙突がないのが特徴で、ソイルフィルターを使用し公害対策と環境に配慮しているとの説明を受けました。また、本工場で製造している458銘柄のうち、液肥だけで45銘柄を製造しており、当地域では液肥のニーズが高いとのこと。

ことです。

工場内視察



肥料工場の概要説明



3日目は福岡大同青果へ訪問し、偶然日程が重なった上富良野支部の視察研修と合流しました。三苦副部長との意見交換の中で、ふらの産農作物の評価と期待が高いことが理解でき、参加した部員も産地としてのプライドを感じた訪問となりました。

来年度から上富・中富支部が一本化し北エリア支部となります。今回の研修を通じて部員が同じ志のもと、ふらの農業を支えて行くことを期待します。

市場幹部との意見交換



市場に並ぶ道産玉ねぎ



JA北海道女性大会・北海道家の光大会



11月12日～13日、札幌パークホテルにてJA北海道女性協議会主催による令和7年度JA北海道女性大会・北海道家の光大会が開催され、JAふらのからは女性部員7名が参加しました。

本大会は全道の仲間との親睦と今後の組織活動の活性化を目的に開催され、女性部員および関係者約430名が顔を合わせました。

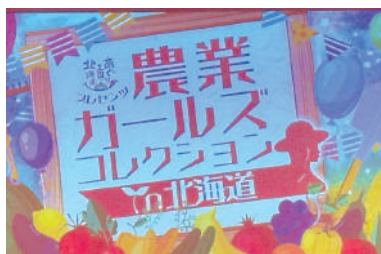
1日目は、東京大学大学院特任教授・名誉教授鈴木宣弘氏の講演を拝聴。日本の食の危機と財政政策についてのお話で「世界で日本がはじめに飢えてしまう」というショッキングな内容もあり、みな

さん大変興味深く聞き入っていました。その後、家の光記事活用体験発表や部員交流会が行われ、今年で100周年を迎えた家の光協会が作成したダンス「100ダン」を全員で踊り、会場は大盛り上がりでした。

2日目は農業ガールズコレクションin北海道と題し、各地区の特産品でレシピ開発した自慢の料理をプレゼンしたのち、全員で試食会を行いました。投票の結果、JAあさひかわ（上川地区代表）「そばいなり」がみごとグランプリを受賞されました。



鈴木宣弘氏



JAふらの女性部冬期研修 開催



北海道大学総合博物館で集合写真

11月26日～27日、女性部冬期研修を開催し、部員45名が参加しました。

1日目の北海道大学総合博物館（札幌市）では、各学部の研究についてのパネル展示や、さまざまな動物のはく製、昆虫や植物の標本、それにまつわる資料など400万点が保存されており、みなさん興味のある分野を時間いっぱい見学しました。

昼食後のサッポロビール博物館（札幌市）では、開拓史のはじまりからビール醸造人の誕生、官営から民間企業へと、サッポロビ

ルの歴史について学びました。

2日目のキッコーマン（千歳市）では、しょうゆの歴史や製造工程について、工場見学を交えながら担当者よりお話を伺いました。「キッコーマン菌」と名付けられた麹菌があることを知りました。

今回の1泊研修では、地区を越えた仲間や久しぶりに会う部員とゆっくり交流することができ、有意義な研修となりました。



マンモスの模型



サッポロビール博物館



キッコーマン
しょうゆ仕込みの様子

女性部から



JAふらの女性部

連絡委員交流会

11月19日、富良野ナチュラクスホテルにおいて女性部連絡委員交流会を開催し、女性理事、女性部役員、連絡委員合わせて21名が出席しました。

今回の交流会では4つのグループに分かれ、女性部事業と3年目を迎えたサークル活動について意見交換を行いました。

旧支部の垣根を越えた仲間づくりの一環として始まったサークル活動では、各イベントリーダーの負担や、参加人数が少ないイベントについてどうするかなど様々な課題が見えました。

また、女性部事業については「作付作物によって繁忙期も異なる。毎年参加できない事業があるので時期をずらして開催してはどうか」「加工品の商品開発で、女性部コラボ商品を作ってほしい」など様々な意見がだされました。各グループから出された意見要望などは今後の女性部運営に活かされます。



集合写真



意見交換会の様子

JAから

女学
大

JAふらの女性大学 手芸講座

11月20日、女性大学第15期生（1年生）の第4回講座として手芸講座を行い、学生16名が参加しました。

午前中には中富良野町の大谷陽子様、久保照美様を講師にお招きし、生花材を使った「クリスマスワッグ」を、午後には家の光に掲載されていた「米袋バッグ」を作成しました。

スワッグ作りでは、同じ花材を使って作成しましたが、配置、全体のバランスによって異なる表情となり、皆さん何度も配置を変え確認し、思い思いのスワッグを作っていました。

米袋バッグ作りは、少し分りづらい工程もありましたが、副学長3名が講師を務め、学生の質問にアドバイスしながら制作しました。稲穂模様を生かしたり、各自持ち寄った布を使ったり、個性あるオリジナルバッグができあがりました。完成したバッグはかなり丈夫ですので、野菜の保存袋やエコバッグとして活用できます。



大谷氏 作

ふらの産農産物を使った料理講座



11月11日、女性大学第14期生（2年生）の第8回目講座として、中富良野加工施設にてふらの産農産物を使用した料理講座をおこない、学生16名が参加しました。

この講座は、ふらの産農産物の美味しさを味わって頂くとともに、第2回講座「農業・施設視察」で見学した農産物を使用することによって、ふらの産農産物を身近に感じてもらう応援して頂くことを目的としています。

当日は、女性部役員の盛永由紀子副部長をはじめ、岡本さなえ氏、小沼幼子氏に講師を務めていただき、青大豆と白大豆の豆腐と5種類のパンを作りました。豆腐をシンクに貯めた水に流し込む際には、その出来栄に拍手と歓声が響きました。

参加者は、交流を深めつつ講師にコツを教わりながら、手際よく料理を完成させていました。時間の関係上、豆腐とパンはお持ち帰りとなりご自宅でご賞味いただきましたが、豆腐の製作工程で出来た豆乳はとても飲みやすく大変好評でした。

生産部会から

クリスマスリース作り



作業風景



お披露目

ふらの農協酪農部会婦人部は、12月4日に会員8名参加のもと、ふらのマルシェ2「はなや日々色」にて、クリスマスリース作りを行いました。まず、ヒバとユウカリの枝を15cm程度に切り、リースフレームにそれぞれ1本ずつ束ねて針金でくる作業を一周するまで繰り返します。始めは、針金でくるのにこずっている方もいましたが慣れてくると「これで大丈夫かな」など会話をしながら作業を進めていきました。次にベリ、綿の実、ナッツ、八角などのオーナメントをグルーガンでのり付けする作業では、配置に「センスがないから」と苦労していましたが個性あふれるリースが完成し、「かわいい」「裏から見てもすてき」など出来栄をたたえ合っていました。

zakka & café kot iで昼食をいただき、普段あまり話すことが出来ない妻ならではの悩み話に大いに盛り上がっていました。

今後の活動について、日帰り見学など活発な意見が出ておりましたので、次年度に向けて楽しめる活動にしていきたいと思っています。

畜産課

令和7年度北海道枝肉共励会 黒毛和種の部
(有)ささき農畜産 優良賞 受賞

令和7年度北海道枝肉共励会が11月29日に開催され、黒毛和種の部では全道から158頭の出品があり、JAふらのからは4頭を出品し、(有)ささき農畜産が優良賞を受賞しました。

優良賞を受賞した逞令和5乃12号(父・福之姫)は、ロース芯が103cm、バラの厚さが11cmと迫力があり非常に見ごたえのある良質な枝肉となっておりました。また切開面全体に細かいサシが広がっておりレベルの高さを感じました。

受賞に際し、(有)ささき農畜産 佐々木将人氏から「次回は最高位をとれるように牛群の改良と飼養管理により一層磨きをかけたい」と今後の意気込みが伝わるコメントを頂きました。

(有)ささき農畜産より出荷される枝肉は「ふらの大地和牛」として販売されており、ふらの大地和牛の認定にはもち米を給餌することが一つの条件にあります。もち米を与えることにより脂肪の風味を増し、「さらにおいしい和牛の肉」を目指したブランド牛となっています。ふらの管内では、エーコープフォーレスト店で購入することができますので、訪れた際はぜひご賞味ください。



総務部

職員の集合研修会の実施について

11月10日、11日にJAふらのの本所にて若年層職員を対象にした集合研修で「ビジネス文書作成能力向上研修会」を日本経営協会の藤本講師を招いて2日間で40名の職員が参加いたしました。

本研修では「文書作成の基本やコツ」や「文書構成のテクニック」を学び、参加した職員は熱心に講習を聞き、グループディスカッションも行いました。

参加した職員からは「今後の業務に活かしていきたい」など前向きな感想もあり、研修を機に職員の能力向上を期待したいと思います。



研修の様子

南富良野事務所新築工事 地鎮祭開催



玉串奉奠を行う植崎組合長



鎮物の儀を行う及川南エリア運営委員長

12月3日、南富良野事務所建設予定地において新築工事地鎮祭が行われました。

現在の南富良野事務所は昭和42年に建築され、組合員並びに地域住民の生活を守る拠点として長きにわたりご愛顧いただきました。しかしながら、生活店舗維持に伴い建物等を町有としたことから、人參選果場敷地内へ新たに営農販売事業にかかる事務所を新築することとなりました。

南富良野町をはじめとしたご来賓、関係者約20名が参列され、富良野神社西川宮司、西川欄宜の奉仕のもと厳かに執り行われました。

植崎組合長は「施工業者の皆さまには安全に十分ご留意いただき、無事に完成を迎えられますようご祈念申し上げます」と述べられました。

新事務所は来年6月頃の供用開始を目指して進めております。



農協法公布記念式の開催について

11月21日、JAふらのの本所にて農協法公布記念式を開催して役職員の約200名が出席しました。

冒頭、今日まで農業・農協の発展にご尽力された組合員及び役職員の物故者に対し黙祷をささげ、植崎組合長の挨拶では農協法が制定されて78年を迎えて、合併から今日までの農業や農協の健全経営や農業環境の変化に対応する今後の農協の役割などについて述べられました。

式中で永年勤続者表彰として、10年、20年、30年、35年、40年と長きに渡りJAに勤務された職員38名に対する表彰があり、代表して35年勤続を迎えた武島邦彦北エリア長が謝辞を述べました。また、資格認定試験合格者の職員40名の表彰も行われました。

式終了後にJA共済連北海道 旭川支所長 大矢樹礼さまの講演の様子。大矢樹礼様による「働くということ」と題した講演が行われました。講演では、CS（顧客満足度）とES（従業員満足度）の関連する企業発展の仕組、エンゲージメント調査や人事考課制度の目的についてお話いただきました。いずれも企業の業績向上の為の手段として取り組みされたものですが、エンゲージメント調査については組織を良くする為に問題を可視化し事業者側だけでなく従業員側も自分ができる小さな変化・行動を起こしていくことが大事という内容でした。今後の農業・農協事業発展に大いに期待されるところです。



JA共済連北海道 旭川支所長 大矢樹礼さまの講演様子



記念式の様子

新人職員の年末発表研修開催

12月5日、JAふらのの本所にて今春に採用となった新人職員6名が教育訓練計画に基づき「私の仕事の振り返り」をテーマに、常勤役員や上司の管理職に向けて発表を行いました。新人職員が自らの業務内容の説明を行い失敗から学んだこと、今後の目標などを緊張した面持ちで発表いたしました。発表後は常勤役員、管理職から評価とアドバイスをいただき、今後の業務に対する大きな励みになったと思います。また、来年度の内定者の5名も発表に同席して真剣に新人職員の発表を聞き、「業務内容を具体的にイメージすることができた」等、働くことのイメージに繋がったようです。

この研修を機に新人職員がより一層、組合員の皆さまの負託に応えられる職員になることを期待したいと思います。



中富良野町で農作業安全講習会を開催

中富良野町営農組合連合協議会では、11月5日に地域農業者を対象に農作業安全講習会を開催しました。

近年、農作業省力化のためのスマート農業が急速に普及している反面、農作業事故は減少していないことに着目し、農作業安全に関する意識を高めていくことが、地域農業にとって重要であるとの考えから企画されています。

この講習会では、北海道農作業安全推進本部に協力を依頼し、農研機構よりニューカントリーの記事掲載でも著名な積栄氏を講師として派遣して頂くことが出来ました。

講習会のテーマは「危険を見逃さず農作業事故を防ごう」というもので、実際の事故事例をもとに一見すると単純な人的ミスも、事故に至った経緯には作業環境、経験年数、経営規模等様々な要因が関わっており、周辺環境の整理や、身近な人の意見を取り入れながら作業ルールを作ることが、安全確保にとっても重要であることを分かり易く解説頂きました。中富良野町営農組合連合協議会では、本講習会のテーマを旗に記して、農協の各施設に掲示しながら今後も農作業安全を推進して参ります。





JAふらの女性部 12月事業 開催

12月10日、JAふらの女性部は本所事務所にて12月事業を開催し、部員49名が参加しました。

今回の全体事業は、5グループに分かれ役員が講師となりコサージュ作りを行いました。100円ショップで集めた材料はカラフルかつたくさんあり、好みの材料選びからわいわい楽しめました。小ささまざまな花材や、パール、レースなどの飾りをどこに配置しようかと悩みながら個性あふれるコサージュが完成しました。

手芸講座のあとは、6月に開催されたJA上川地区女性部管外研修報告を、研修に参加された盛永副部長がスライドを使って行いました。

昼食後、(株)新和様とオガール店に協力いただき、販売会を行いました。また、部員お手製のハンドメイド作品の展示販売会も開催し、各ブース大盛況となりました。



中田部長より開会挨拶

カラフルな花材



ハンドメイド作品



バランスはどうか・・・



完成作品を胸につけ集合写真



フレッシュミズ部会 12月全体交流会開催

12月8日、JAふらの女性部フレッシュミズ部会は、全体交流会として「ヨガ・手相講座」を開催致しました。時節柄、体調不良による欠席も多く13名の参加となりました。

前半は「美筋ヨガでボディメイク&身体への不調へアプローチ」と題して、Run 2 yoga（るんるんヨガ）の山本薫氏を講師にお招きし、農作業や家事や子育てにと凝り固まった身体のメンテナンスを行いました。『ほぐす↓伸ばす↓鍛える』の順に教わり、始めは身体に当てると痛かったローラーも徐々に気持ちよくなり、肩の可動域も広がるなど効果を実感した講座となりました。

午後は「手相を知ろう」と題し、手相診断師の吾妻じゅん氏をお招きし、さまざまな手相の線について楽しくお話を伺いました。金運線がしつかりはいった方や、超強運といわれる『ますかけ線』をもつ方もおり大歓声があがりました。

今回の交流会では身体と心をリフレッシュできた良い交流会になりました。フレッシュミズ部会の活動の様子は、Instagramにも投稿されていますので、ぜひご覧ください。



↑フレッシュミズ Instagramはこちら



まずはローラーを使ったほぐし イタタ・・・



この線は・・・！？



中央左：吾妻氏 中央右：山本氏

令和8年1月1日

マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

代表理事組合長 植崎 博行

最近、様々な金融犯罪が発生し、その手法や手口も巧妙かつ高度になってきています。新聞等での報道を見て心配に感じておられる組合員・利用者の方々も多いのではないかと思います。また、国際的に金融機関が取り組まなければならない課題として、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策（以下「マネロン対策」）の重要性が益々高まっています。マネロン・金融犯罪対策に取り組むことは、信用事業を営む当組合の責務でもあります。

当組合では、金融機関としての信頼性を確保するため、そして、お客様の大切な財産を金融犯罪からお守りするために、マネロン・金融犯罪対策の取組みを重要な経営課題と位置づけて、一層力を入れて取り組むことといたします。

このたび、金融共済部の職員一名をマネロン・金融犯罪対策リーダーに任命し、組合全体としての取組みの定着化・高度化に向けて、職員の先頭に立って取組みを進めてもらう予定です。私を含め常勤理事もマネロン・金融犯罪対策が組合内で徹底されるよう指揮のうえ、組合員・利用者の方に安心して当組合を利用いただけるよう取り組んでまいります。



燃料自動車課からのお願いです

車検は、法改正により満了日の2か月前から受けられるようになりました。

毎年、繁忙期には予約が集中するため
ご希望の日程での対応が難しくなる場合がございます。
組合員のみなさまに安心してご利用いただくために、
早めのご入庫にご協力くださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

アロック富良野カーセンター	:22-0078	アロック上富良野カーセンター	:45-6880
アロック上富良野店	:45-2263	アロック中富良野店	:44-2095
アロック富良野新富店	:23-1330	アロック山部店	:42-2413
アロック東山店	:27-2761	購買センターみなみふらの店	:52-2075



退職辞令

発令日	所 属 部 署 名	氏 名	退職事由
令和7年12月31日	購買部 燃料自動車課 燃料自動車係	やす 保 岡 美 咲	依願退職
令和7年12月31日	購買部 燃料自動車課 富良野カーセンター 自動車整備係	ち ば しょう へい 葉 昌 平	依願退職

採用辞令

発令日	所 属 部 署 名	氏 名
令和8年1月1日	金融共済部 本店 金融課 金融係 試用職員	き むら もと み 木 村 元 美



Recruit

JAふらの | 採用情報

一緒に働く **正職員** を募集しています！

若年層の長期キャリア形成を図るため45歳以下の方大歓迎！
未経験・第二新卒歓迎！U・Iターン歓迎！



← 詳細な募集要項はふらの農協HPでご確認ください。

お問合せ 人事課 0167-23-3532



北海道女性農業者グループ きたひとネット フォーラム2026



知!値!地!

チッチッチ!

～知ったつもりを手放して、農業を深めよう～

日時

2026
1.27 火
28 水

13:00～17:00
(受付開始12:00)
※オンライン配信あり

9:00～12:00

会場

北海道大学学術交流会館

札幌市北区北8条西5丁目

JR札幌駅・地下鉄さっぽろ駅 徒歩7分

主催：北海道女性農業者ネットワークきたひとネット

共催：北海道大学大学院農学研究院

後援：北海道 北海道指導農業士協会 北海道農業士協会

公益財団法人 北海道農業公社

一般社団法人 北海道農業会議

参加費

女性でも！男性でも！農業に興味がある方！

きたひとネット 会員	1,500円	きたひとネット 会員の家族	2,000円
一般 (非会員)	4,000円	学生	1,000円

託児あります(二日間・利用料無料)

※利用の際は申込み時に必ずお知らせください。

お申し込みはこちら
Peatix(ピーティックス)



申込み期間

2025/12/1～2026/1/9

※受付開始以前の申込みは無効です。

※インボイス対応はしていません。

※当日は参加者名簿を配布します。

お申込み後、連絡なし不参加の場合は参加費をお返しできませんのでご了承ください。

お問い合わせ



kitahitonet.2009@gmail.com



050-3173-5009

北海道女性農業者グループきたひとネット 事務局：佐藤絵美（上富良野町）



合言葉は
チッチッチ!

北海道女性農業者グループ きたひとネット フォーラム2026

知!値!地! チッチッチ! ~知ったつもりを手放して、農業を深めよう~

1/27 (火) (受付開始 12:00)

1日目 第一部
13:00~14:55

座談会

「うまくいく事業継承」

~理想と現実のギャップからこの地で私たちがらしく~

昨年のフォーラムで大好評だったテーマ、事業継承。これからも北海道農業を維持するために必要なことです。今年はもう一歩踏み込んで、実際に事業継承した二組のよりリアルな話を聞き学びましょう。

【従業員継承のご夫婦】 美郷牧場 更別村

佐藤亮介氏・春佳氏



江別出身の亮介さんと畜産を学んだ春佳さん夫妻は、就農フェアをきっかけに牧場へ。1年の研修を経て後継として承継し、若い力で牧場経営に挑んでいます。

【第三者継承のご夫婦】 TSURUYAMA FARM & VINEYARD 沼田町

鶴山甲晋氏・八千子氏



滋賀県から沼田町へ移住した鶴山さんご夫妻は、ブドウ栽培と委託醸造を進めながら、自社ワイナリー開設を目指し町の新たな魅力づくりに取り組んでいます。

ファシリテーター きたひとネット 副会長 桜木 円佳



情報提供

北海道農政部・北海道農業公社
支援体制について

1日目 第二部
15:10~16:20

講演

「今一度JAのことを知ろう」

講師 北海道大学大学院農学研究院 准教授 小林 国之氏



店頭にお米がない!「令和の米騒動」が2024年の流行語トップ10になるほど注目の的に。一方でJA(農協)が批判されることも。ネットや各種メディアで話題になりましたね。生産者はJAについて学ぶ機会は多くありません。本当はどうなの? 私たちにどう関わっているのか。資材や金融だけではない、JAとは何か。今一度、JA、そして流通とは? 何かを考えましょう。

16:30~17:00

会員
賛助会員のみ

北海道女性農業者ネットワークきたひとネット 第18回定例総会

18:00~20:00

きたひとネット 大交流会

@北大正門「カフェdeごはん」

参加費: 5,000円

毎年大盛況の交流会。お一人でもお気軽に! お楽しみ企画もありますよ!

1/28 (水) (受付開始 9:00)

9:30~12:00

グループ
ディスカッション

「今の流通・JA・価格、モヤっちゃう」

司会進行 きたひとネット 事務局 新屋 裕子

特別講師: ホクレン農業協同組合連合会

生産者でありながら、私たちは“消費者”でもあります。でも、意外と他の作物の流通や価格の仕組み、JAとの関わり方まで深く知る機会は少ないもの。お米や牛乳の今の状況をテーマに、グループに分かれてディスカッションします。「なぜこうなるの?」「いつもモヤモヤしてた…」そんな疑問や気づきを気軽に共有し、視野を広げる時間にしましょう。立場や地域の違いを超えて語り合うことで、これからの農業を考える一歩につながります。

「お米」・「牛乳」のグループに分かれてとことん話しましょう!

“きたひとネット”とは?

道内各地で活躍していた女性農業者グループが相互の交流と活性化を目的に2009年に設立しました。女性も男性も共に働く喜びを共感する豊かな農村・農業を次世代へつなげ、地域や社会への発信をするための自主的なネットワークです。年に一度、フォーラムを開催し自己研修しています。会員は農業者、賛助会員はサポートする農業関係者です。総会員数は120名。毎週金曜にSNS更新中です!



会長 清口めぐみ (深川市)
副会長 桜木円佳 (広尾町)
事務局 佐藤絵美 (上富良野町)
事務局 新屋裕子 (上富良野町)

【きたひとネット役員一同】



山部支店金融共済窓口の

営業時間変更のお知らせ

日頃より、当 J A 金融共済事業に対し多大なるご利用を賜り、誠にありがとうございます。

さて、J A ふらの 山部支店 金融共済店舗 は、令和 8 年 2 月 2 日 (月) より、平日の窓口営業時間を下記のとりの時間帯へ変更させていただきます。

地域の特性・店舗環境等に応じて、効率的な店舗運営による 金融サービスの維持を図ることを目的に、今般、昼休業を導入することになりました。

なお、山部支店における取り扱い業務や ATM コーナーの営業時間は変更ありません。また、窓口休業の時間中も引き続き ATM コーナーはご利用いただけます。

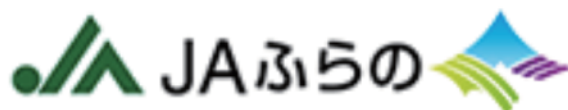
みなさま方にはご不便をおかけすることと存じますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

【変更内容】

	変更前	変更後
窓口の平日 営業時間	9 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0	午 前 9 : 0 0 ~ <u>1 1 : 3 0</u> <u>昼休業 1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 3 0</u> 午 後 <u>1 2 : 3 0</u> ~ 1 5 : 0 0

※ATM の営業時間は変更ありません。



令和6年産米 概算金追加払いのお知らせ

令和6年産うるち米・もち米に対する概算金の追加払い額を、下記の通りお知らせいたします。

下記は一部抜粋した品種ですが、6年産米全品種に対し、令和7年12月19日にお支払いさせて頂きました。

お米の精算は農協の仕組み上、どうしても複数年に渡ってしまいますが、今後とも農協へたくさん出荷していただき、魅力あるお支払いが出来るよう有利販売に向け頑張ってまいります。どうか特段のご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします！

(円/俵、税込)

品 種	区 分	R6年産 概算金単価	R7年12月19日 追加払額単価	R6年産 合計精算単価
ななつぼし	一 般	21,000円	4,300円	25,300円
ゆめぴりか	S区分	22,000円	4,400円	26,400円
ゆめぴりか	1区分	21,500円	4,400円	25,900円
はくちょうもち	節 減	13,500円	5,350円	18,850円

増やそう！ JAふらのサポーター！！

正組合員の皆さんのお手元にお届けしている「JA広報誌『ふらのの大地』」ですが、行政機関や普及センター、富良野高校などの関係機関にお配りしているのはもちろんのこと、農業をリタイアして准組合員となった方の中にも『JAを応援したい』というありがたいお言葉とともに、広報誌を継続して読んでいただいている方もいらっしゃいます。

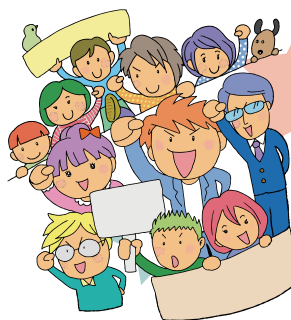
『JAはどんな組織で、今どんなことが地域農業の中で話題なのか』をPRするのが広報誌ですが、より多くの方に『JAの応援団』つまり **JAふらのサポーター**、になってもらうことが最終目標ですので、正組合員の方だけではなく、より多くの方々に際あらば配布するチャンスがうかがっております！

もちろん、無尽蔵に配布するというわけにはいきませんが、皆さんの身の回りに、下記に該当するような方はいらっしゃいませんか？

- 農業を引退はしたけれど、JAを利用したり農業に関心をお持ちの方
- まだ農家ではないけれど、就農を目指して努力を続けている方
- 地域おこし協力隊など、地域農業に関心を持って活動をしている方

こういった方々にお心当たりのある方は、是非各エリアのエリア長まで『こんな人にも広報誌配ったらどうかね？』とお知らせください。そうした方々がJA事務所に来られた際にお渡しができるよう、取り置きをさせていただきます。

**農業の味方を増やすのは、
あなたの地道なファンサービス【？】かもしれません！？**



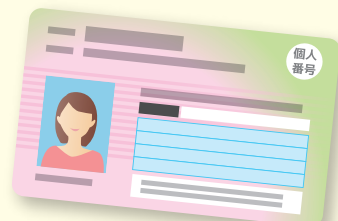
【富良野税務署からのお知らせ】

◎2月13日（金）までの申告相談等について

確定申告などの申告相談等について、2月13日（金）までは確定申告会場を開設しておりませんので、窓口で申告相談等を希望される場合、LINE又は電話での事前予約が必要です

電話でのお問合せが多くなる時期ですので、下記QRコードからLINEによるオンライン事前予約をご利用ください。

【LINEでの予約はこちらから】



なお、確定申告については、お手持ちのスマートフォンとマイナンバーカードを使用して申告しますので、来署の際は忘れずにお持ちください。また、マイナンバーカードのパスワード(4ケタ及び6ケタ以上の2種類)が必要となりますので、事前に確認をお願いします（マイナンバーカード及び電子証明書の有効期限にご注意ください）。

読者の声

ふらの農協様
感動しました。

ふらの農協の機関紙（ふらのの大地11月号）です。

スペインとオランダの戦争でオランダの商人が自国の武器を敵国であるスペインに売り、莫大な利益を得ていたということです。

私も知りませんでしたが、今の時代にも当てはまる事例と思いました。

農協と組合員にも同じことが書いてあり同感です。

協同組合の恩恵の中で私の経営も成り立っておりますが日常感じません。

自由の解釈がたくさんあり、自分の都合の良ように理解しています。

「ペイラントの自由」にはこの歳になり始めてお目にかかり勉強になりました。

編集された職員の方たちには寛大な敬意を表します。

ありがとうございました。



【編集部より】

上富良野の組合員さんより、JAのホームページから先月の広報誌特集記事に対する温かいお言葉をいただきました。

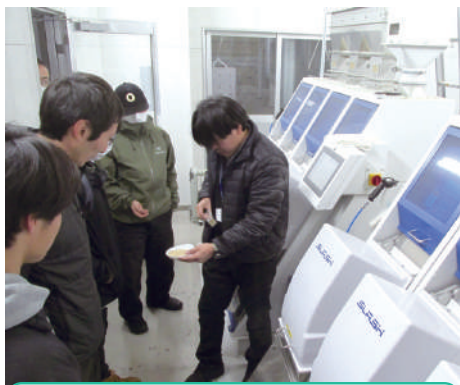


編集側といたしましては、少しでも読まれる方々の心に響く記事を掲載できれば、との想いで誌面作りを行っておりますので、こんな温かいお言葉をいただけると本当に励みになります（個人的に自分のパソコンに『家宝』と名前を付けて保存しました）。

毎月必ず皆様のお手元に届く広報誌だからこそ、組合員とJAの懸け橋になりうると信じております。

皆様もホームページでも電話でも、温かい励ましや厳しいご指導等、どんどんご意見をお寄せいただければ幸いです。

とができました。
 土壌分析センターでは分析機器を見学し、富良野地区の農地の現状についてお話をうかがいました。



色彩選別機の動きを確認

11月20日、中富良野町のカントリエレベーターと土壌分析センターを見学しました。
 カントリエレベーターでは収穫物がどのような工程を経て乾燥調整、選別、品質検査をされているかを知ること

JAふらの農業施設見学

教育活動紹介

AGRI

育て農の担い手!

富良野高等学校
農業特別専攻科

毎年、希望者を対象に埼玉県の農家に泊まり込みで研修を行っております。今年は1名の学生が希望しました。都市近郊型の農業、1年を通して栽培ができる地域での働き方、寝食を共にして初めてわかる生活習慣や伝統など、様々な違いを肌で感じることができました。

道外農事研修（埼玉研修）



ミニトマトの後作に寒締めホウレンソウ

11月27日、上川管内の農業者や農業関連企業の視察研修を実施しました。今回は旭川市の新規就農した施設園芸農家と、富良野市のアトム農機を視察しました。今年度の学生は新規就農希望者が多く、ロールモデルとしての将来の自分と重ねていたようです。

管内農事視察研修

入試情報や活動内容はホームページやfacebookでも確認できます



facebook



ホームページ



令和8年度 富良野高校 農業特別専攻科 学生募集

自家の農業に従事しながら、専門的知識・技術を学びたい方なら年齢や性別に関係なく出願できます。
 修業年限は2年です。

- 出願資格 高等学校またはこれに準じる学校を卒業した者(令和8年3月末日までに卒業見込みの者を含む。)
 または本校校長が高等学校を卒業した者と同等の学力があると認めた者
- 募集人員 20名
- 出願期間 <1次> 令和8年1月8日(木)午前9時から1月16日(金)正午まで (土日、祝日を除く)
 <2次> 令和8年2月12日(木)午前9時から3月16日(月)正午まで
 (土日、祝日、3月1日～3月8日を除く)
- 検査日 <1次> 令和8年1月30日(金)午前10時
 <2次> 令和8年3月25日(水)午前10時 (1次募集で定員が充足した場合、2次募集は実施されません)
- 検査会場 北海道富良野高等学校 * 願書等は直接、農業特別専攻科へ請求してください。
- 検査内容 作文および面接

TEL・FAX 0167-22-2594



第5章

東の果てまでやってきた
ジャガタライモ

馬鈴しょと人類との付き合いが比較的若い、と言いましたが、馬鈴しょの栽培の歴史はあまりはつきりとはしておらず、南米アンデス地方のチチカカ湖周辺で栽培が始まったと推測されています。これが欧州に伝えられたのは、15〜16世紀初にスペインがインカ帝国を侵略したのに端を発します。インカで主食としての地位を既に確立していたのですが、南米から欧州に運ばれる船上、芽の出た馬鈴しょを口にした船員が中毒症状を引き起こしたために『悪魔の植物』と呼ばれ、一般にはなかなか普及しませんでした。これには、聖書に馬鈴しょが出てこない上、地下茎で増えることも影響していたと言われます。



そんなまさか…ねぇ？

旧約聖書には厳しい食事戒律が記されており、敬虔なユダヤ教徒はこの戒律に則った食事しかしないそうです。となれば、『新種』の食べ物である馬鈴しょは、当然その戒律に記載されていない、ということになります。

また、聖書の教えでは『男女（雌雄）によつて子をなす』のが生物の基本とされてきました。ノアの箱舟でも乗せられなかった動物は『雌雄つがい』とされています。なので、種なしで地面に埋めておくと増えていく馬鈴しょは、16世紀なんて宗教改革が叫ばれていた中世ヨーロッパにおいては、やはり『悪魔の植物』だったんでしょうねぇ。

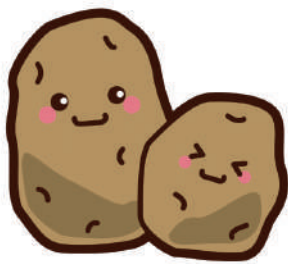
ちなみに、ジャガイモの毒性の正体は良く知られる『ソラニン』というステロイドアルカロイドで、ジャガイモだけでなくナス科全般に同系統の毒性物質を持っていることが知られています。同じナス科のトマトもトマチンという毒性物質が葉や茎に含まれています

(本当だぜ？



)。

ジャガイモでは芽の付け根や緑化した皮に多く含まれているんですが、水には溶けやすいものの熱に強いので、焼く・蒸すなどの単純な調理をしただけでは取り除くことが出来ませんので注意が必要です。栽培が容易なことから、国内での中毒事例も、プロ農家が栽培した販売物ではなく、家庭菜園で栽培した緑化芋によるものがほとんどと言われています。



■ 報告事項 ■

1. 事業及び一般概況について
2. 組合員からの情報提供窓口設置に係る広報誌掲載について
⇒ 監事が理事の職務の遂行に係る情報を組合員から収集し、監査の実効性を高めるための情報提供窓口の周知について報告されました。
3. 令和7年度 第3四半期監事監査結果報告について
4. 内部監査実施結果報告について
5. 組合員加入・脱退・資格変更・持分譲渡について
6. 農地保有合理化事業の取り組みについて
7. 融資報告について
8. 理事に対する利益相反取引の事後報告について
9. 余裕金運用状況報告について
10. 山部支店金融店舗の昼休業の実施について
⇒ 令和8年2月2日から11:30～12:30の昼休業の導入について報告されました。
11. 青果物販売状況報告について
12. 令和7年産 にんじん最終精算報告について
13. 畜産取扱状況報告について
14. 令和7年産 麦類生産実績報告について

令和7年11月21日、本所役員会議室で第11回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認されました。

15. 生産資材（農薬早期とりまとめ）ウェブ受注トライアル実施について
⇒ 農薬予約申込の利便性向上および事務作業効率化を目的として、従来の「紙による申込」に加え、スマートフォン・パソコンを利用したウェブ申込方式の導入試験について報告されました。
16. 与信先の状況報告について

□ 協議事項 □

1. 出資金の減額について
2. 融資案件について
3. 役員に対する貸付について
4. 防衛事業手数料率の見直しについて
5. 賦課金賦課方法の見直しについて
6. 令和8年産 米穀の共同計算運営の基本事項について
7. 令和7年産 種子馬鈴しょ概算払い単価について
8. 令和8年度 野菜苗供給単価について
9. 令和7年産 玉ねぎ概算払い単価について
10. 第3四半期業務検討について
11. 年末手当の支給について



最近情報へ
アクセス!
お得な情報も
あるかも!?



フレッシュミズ部会



フレッシュミズ部会



情報発信部会
「のんの」



女性部
通信第3号



健康メモ



冬にも気をつけたい「かくれ脱水」

「訪問看護の現場から見える冬の健康づくり」

J A北海道厚生連 旭川厚生訪問看護ステーション

看護師 保土澤 智史

はじめに

北海道、特に上川地方の冬は、白い雪と澄んだ空気が美しい季節です。けれども寒さが厳しく、家の中で過ごす時間が長くなる冬は、気づかないうちに体の水分が不足してしまうことがあります。「汗をかかないから脱水にはならない」と思っていますか？実は、訪問看護の現場では、冬に脱水を起こす方が少なくありません。今回は、冬に起こる「かくれ脱水」について、家庭でできる工夫を交えてお話しします。

1. なぜ冬に脱水が起こるの？

脱水と聞くと真夏の炎天下で汗をかきすぎて起こるものというイメージがあると思います。実際、



今年度の夏も猛暑日が多く、熱中症になった方々のニュースもよく耳にしたものです。猛暑の時期の「JAふらのの大地」2025年7月号にも『かくれ脱水にご注意を』が取り上げられるほどの危険な暑さでした。でも、実は冬も体から静かに水分は失われていま

す。暖房のきいた室内は空気が乾燥し、呼吸や皮膚から少しずつ水分が蒸発します。寒さのせいで「トイレが近くなるのが嫌」と水分を控えたり、活動量が減って喉の渇きを感じにくくなったりすることもあります。さらに高齢になると、もともと喉の渇きを感じにくくなる体の変化があります。筋肉量の減少によって体に蓄えられる水分も減り、ちょっとした水分不足でも体調に影響が出やすくなります。訪問先でも、「最近あまり水を飲まない」「食事が少なくなっただ」という方が増えるのが、この冬の時期です。

2. 脱水のサインに気づくことが大切

冬の脱水はゆっくり進むため、本人も家族も気づきにくいのが特徴です。次のようなサインが見られたら水分が不足しているかもしれません。

- ・口の中が乾いている
- ・舌が乾燥してザラついている
- ・尿の色が濃い(濃い黄色・茶色)
- ・体がだるい、立ち上がるとふらつく
- ・手足が冷たいのに体温がいつもより少し高い
- ・いつもより便が硬い

訪問看護では、肌や口の中の乾燥、尿の色や回数、舌の状態、皮膚の張り、食事や水分の摂取量、体温や血圧、脈拍などから早めに

だっすい ちゅうい ! かくれ 脱水に注意 !



脱水のサインを見つけるようにしています。気づかないうちに体の水分が減ると血液が濃くなり、心臓や血管に負担がかかることで心筋梗塞や脳梗塞などを起こすことがあります。また、□の中が乾くと唾液が減り、□の中の細菌が増えやすくなります。さらに唾液が減ることで飲み込みにくくなり、食べ物を誤嚥しやすくなります。そうなると誤嚥による肺炎の原因にもなりやすくなります。軽い脱

水の段階で気づいて水分を補うことで、体調の悪化やそれに伴う入院を防ぐことができます。

3. 家庭でできる冬の脱水予防

水分補給は、夏でも冬でも「喉が渴いた」と感じる前に少しずつ行うことが大切です。一度にたくさん飲むとトイレが近くなり、結果としてせっかく飲んだ水分が尿に多く出てしまいます。一度にたくさん飲むよりも、1回100ml（湯のみ1杯程度）を何回にも分けて飲むのがおすすめです。温かいお茶やスープ、みそ汁などでもかまいません。水分は飲み物だ

まいばん 水をとろう



けでなく、食事からもとれます。煮物や汁物、果物などを取り入れると自然に水分量を確保できます。ただし、ジュースなどの甘い飲み物には糖分、みそ汁などしょっぱい汁物には塩分が多いため取りすぎには注意が必要です。起床後や入浴後など体から水分が失われやすいタイミングでは、意識して水分を補給する習慣をつけると安心です。

また、室内の乾燥も脱水の原因になります。暖房をつけると空気が乾燥しやすくなり、知らないうちに皮膚から体の水分が奪われます。加湿器を使うほか、やかんや鍋でお湯を沸かしたり、濡れたタオルを干したりするだけでも湿度を保てます。暖房の効いた部屋では、時々換気をして空気を入れ替えることも大切です。

おわりに

冬の脱水は、本人も周りも気づかないうちに進んでしまふ「かくれ脱水」です。寒さ対策だけでなく、「うるおい対策」も冬を元気に

に過ごすための大切なポイントです。私たち訪問看護師は、ご自宅での小さな変化に気づき、安心して冬を乗り切れるようお手伝いしています。この冬は「温かさ」と「うるおい」の両方を意識して、心も体も元気に過ごしましょう。





農家ならではの工夫料理 逸品レシピ紹介



平成29年集大成として発行されたレシピ集より
抜粋、連載させていただきます。

JA南富良野支所女性部の事業「漬物・特産物料理コンクール」で表彰されたレシピをご紹介します！

第42回(平成25年)
磯野 信子さん(幾寅)

材 料

じゃがいも…… 大1個
長いも…………… 50g
ホットケーキミックス
…………… 200g
牛乳…………… 大4,5
白ごま…………… 適量
サラダ油…………… 適量

作 り 方



- 1.じゃがいもはみじん切りにしてさっとゆでて水にさらし水気を切る。
- 2.長いもはすりおろす。
- 3.ボウルにホットケーキミックスを入れ、そのほかの材料を全部入れよく混ぜる。
- 4.160℃の熱した油にスプーン2本で生地をすくい丸めながら落とし入れ、ゆっくり揚げる。

ポテトドーナッツ



☆長芋を入れたので冷めてもふんわりと
している。
☆ごまで香ばしさもでている。



クリスマスプレゼント付き読者アンケート抽選結果発表

アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。
抽選の結果、以下の6名の方が当選いたしました。

中富良野	匿名希望 様	東 山	匿名希望 様
富 良 野	匿名希望 様	上富良野	匿名希望 様
中富良野	松藤 球代 様	中富良野	木下 朋紀 様

おめでとうございます！

当選者の方へ、JAふらの加工品セットをお贈りいたしました。

大勢の皆様からたくさんのご意見、ご感想をいただきました。
皆様からの声を励みに、より良い広報誌を目指しますので、引き続きよろしくお願いします。



編 集 後 記

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いします。

年末には読者アンケートにご協力いただきありがとうございます！いただいたご意見ご感想、組合員のみなさまが必要としている情報をしっかりとお届けできるよう努めて参ります。

引き続き本年も広報誌をご愛読いただけますと幸いです。

今年は午年。油断しているとあっという間に一年が過ぎてしまいそうなので、気合いを入れて一年をスタートしたいと思います！(小)

ふらの農業協同組合

本 所	富 良 野 市 朝 日 町 3 番 1 号	TEL. 0167-23-3532	FAX. 0167-22-3232
上富良野事務所	空知郡上富良野町米町2丁目2番45号	TEL. 0167-45-3131	FAX. 0167-45-4519
中富良野事務所	空知郡中富良野町南町4番31号	TEL. 0167-44-2211	FAX. 0167-44-3143
富良野事務所	富 良 野 市 朝 日 町 3 番 1 号	TEL. 0167-23-1819	FAX. 0167-23-6119
山部事務所	富 良 野 市 山 部 東 町 8 番 2 号	TEL. 0167-42-2211	FAX. 0167-42-2488
南富良野事務所	空知郡南富良野町字幾寅979	TEL. 0167-52-2005	FAX. 0167-52-3113

お問合せフォーム



●皆様からの JA 事業または広報記事へのご意見・ご要望・情報をございましたら電話・FAX、右記 QR コードよりお気軽にご連絡ください●